

公益財団法人 Uビジョン研究所

第10期 2025度 事業報告書

～2025年4月1日から2026年3月31日まで～

1 事業の成果

2024年度は、新型コロナウイルス感染症が2023年5月に感染症法第5類に移行したとはいえ、高齢者施設ではクラスターの発生とインフルエンザ、ノロウイルスなど様々な感染症が同時発生するなどの状況が続きました。長引く感染症対策に加え、財政悪化がさらに懸念されることになり事業継続の転換期となっています。

転換期を乗り切るために、2026年度に5年計画を策定し、実行できる体制を整えていく所存です。

2025年度決算は、1,746,183円の赤字となりました。2022年度～2025年度（4年間）の累計赤字は、7,196,158円となりました。

2025年9月5日に内閣府公益認定等委員会事務局より、事業報告（正味財産増減計算書内訳表）に関する修正の指摘がありました。

指摘内容は下記の通り

「2023年度の数値が、2024年度の正味財産増減計算書に正しく転記されていなかった。」

指摘された内容は修正し、理事に書面会議の議事として、修正の正誤表を9月26日（金）に送付し全員の承認を得ることができました。

計算ミスではなく、あくまでも誤記載のため、合計値に変更はありませんでした。また、貸借対照表や正味財産増減計算書内訳表も変更・修正はありませんでした。

順守すべき公益三基準はすべて満たすことができました。

内閣府より立ち入り検査が2025年10月23日に行われました。公益認定等委員会事務局の公益法人行政担当室から2名の職員が来訪され、約1時間半、書類確認と事業についての質問を受けました。事前の指摘事項について改善に取り組んだことで、訪問による検査においては、指摘事項はありませんでした。

順守すべき公益三基準はすべて満たすことができました。

【第1号議案】

2025年7月から経営会議を月1回開催しました。メンバー構成は、小田理事がファシリテーターを務め事務局スタッフ（3人）で行いました。

7月31日、8月28日、9月11日、10月9日、11月6日、11月27日、12月24日、1月29日、2月26日、3月19日 計11回

「賛助会員」

法人賛助会員12法人（前年度10法人）、個人賛助会員33人（前年度39人）でした。個人会員においては、退会者が2人（退会希望と死亡退会）

寄附金は、（予算1,000,000円）に対して、2,043,300円で1,043,300円増えました。

定期的・継続的にご寄附して下さる方々がおられ、Uビジョン研究所の事業継続のために大きな支援となっていること、また、公益法人としての社会貢献の役割を果たすことに役立ちました。

心より感謝するとともに深くお礼申し上げます。

「認証事業」

認証審査施設予定が3カ所でした。が、そのうち、社会福祉法人天雲会が契約更新には至りませんでした。理由は、経営面と入居者減少（地域の人口減少に伴い、ショートステイの事業廃止、特養ホームの定員数（117名から100名へ）を縮小したこと、人材不足により、職員教育がかなり低下していることなどから、Uビジョン研究所の認定基準に達しないとの見解でした。4月初旬まで検討の期間を延長したのですが、継続には至りませんでした。

それに伴い、予定していた認証事業が予算を下回る結果となりました。

認証施設への情報提供は月に3回～4回

「施設第三者評価事業」

30%割引キャンペーンを継続してPRしていましたが、1件も反応はありませんでした。PR方法としては、ホームページやSNSへのアップ、施設に伺う際にチラシを渡すなどの活動を行いました。

【参考】2025年11月12日の独立行政法人福祉医療機構（WAM）の「社会福祉法人経営動向」9月調査によると、特別養護老人ホームの経営状況は悪化しており厳しい状況が続いていました。要因は費用（食費やその他経費）の上昇と待機者減少との分析でした。

そのような状況下で、義務でもない認証取得や第三者評価の受審はなかなか厳しい現状です。高齢化社会で一人暮らしが増えていくことや虐待の件数が年々増えている現状から、サービスの質を確保するために第三者評価は今

【第1号議案】

後、必要な仕組みだと思えます。国の福祉サービス第三者評価においても全国
の受審率が4.44%と低迷しています。

「講師派遣事業」

○職員教育研修

実施回数は20回で49日（前年度52回、日数83日（前年度44回、日数69
日）、（【第1号議案資料】職員研修（講師派遣）の推移 参照）
ここ年間の法人向け講師派遣は年々減少しています。

○講師派遣

- ・介護サービス相談員の現任研修の講師及び研修テキストの作成
- ・NP0法人 高齢社会をよくする女性の会の総会で講演
- ・神奈川県社会福祉士会 研修講師
テーマ「不適切なケア・高齢者虐待を防止するために～求められる権利擁護
の活動～

○Uビジョン研究所主催 市民セミナー

Uビジョン研究所主催のセミナーは2019年10月に開催した第12回トップマネ
ジメントセミナー以来の開催となりました。
認証施設や法人会員、個人会員、役員の方々の参加を頂いた上に、他の法人
から参加者がありました。

【その他 活動内容】

- ・2025年10月9日（木） 東京都医師会より特養ホームの配置医師のあり方
について、調査研究実績のあるUビジョン研究所と意見交換を行いたいと
いう要請があり、ZOOMで行いました。
- ・12月3日トップマネジメントミーティングをZOOMで開催しました。
認証「悠」施設（5施設）の理事長や施設長をはじめとして、法人が認める管
理職を対象に行いました。さらに、評価者4人が参加しました。
社会のニーズ、個人のニーズの変化と社会福祉法人の経営動向について、
データで説明した後、各施設における課題などについて発言してもらい、意
見交換を行いました。
- ・内閣府の広報室より、公益法人の活動を紹介するコーナーにUビジョン研究
所が採択され、2026年3月に内閣府で撮影の機会がありました。

【第1号議案】

【マスコミ取材協力】

- 株式会社主婦と生活社「週刊女性」より、2025年10月22日に取材。
10月28日発売に掲載
- NHKクロズアップ現代 2025年11月6日
ホスピス型住宅などの不祥事などが発生していることについて
- 毎日新聞大阪支局より 2026年1月10日朝刊に掲載
グループホームで発生した利用者2人に対する性的暴行に対して、「その背景と対策について聞きたい」
- 熊本日新聞社 2026年1月26日
性的虐待の発生・・・2月24日の判決前にコメント。
- 中日新聞社 2026年2月12日
グループホームの虐待事件の判決に関するコメント。

【大学の研究協力】

- 千葉大学看護学部博士課程 研究目的「特別養護老人ホームの家族との面会を活用した認知症を有する高齢者が自分らしさを発揮でできるケアモデルを開発する」のフォーカスグループインタビューと資料提供

「出版物」

2026年3月27日に「虐待を現場で防止する一歩踏み込んだ体制をつくるための最新版虐待防止チェックシート 9分類82項目」本体価格1400円（消費税・送料込み）で発売

「広告宣伝（PR・ホームページ）」

長い間の懸念事項であったホームページアドレス2つが同時に公開されていた問題は、委託契約した療育コミュニティ開発機構業者の協力のおかげで、2025年9月19日にホームページを1本化することができました。更新もスピーディに行えるようになりました。

facebookは定期的・継続的に月に約3～4回程度掲載して情報提供しており、その結果、ホームページへの新規ビュー件数が増えてきました。

「評価者勉強会の開催」

評価者勉強会の一環として、2025年12月に開催したトップマネジメントミーティングに参加しました。評価者へ定期的・継続的に情報提供を行っています。

【第1号議案】

事務局

8月末に「災害・感染症の対応について」を見直しのミーティングを行いました。特に変更はありませんでした。備蓄物は、水2ℓのペットボトル10本、持参できる携帯用ペットボトル（310mlと500mlを各10本、電池（スマホの充電用）3つ、ケーブル2個、簡易トイレ、ひざ掛け2枚。

事務局体制：非常勤週3回1名（3月末で退職）、非常勤1名（理事）、アルバイト1名（月に2回程度）

業務委託契約：藤本税理士事務所、株式会社まほろば（経理事務）、株式会社アドリージョン（ホームページ運用管理）

残業ゼロ、有給消化率100%、非常勤夏休み特別休暇3日間

年末年始休暇 12月25日～1月5日（12日間）

総括

事業継続のために、非常勤で運営していた事務局に常勤職員を置いていきます。

【第1号議案】

2 事業の実施に関する事項

公益財団法人に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	事業費の額 (円)
寄附金	一般寄附金		2,043,300
賛助会費	個人賛助会費 法人賛助会費	39名（うち未納者7名） 12法人（うち未納者2法人）	1,040,000
認証事業		抜き打ち調査5か所（風の村、みなみ風、 ケアハウス中山ちどり、ケアホーム中山 ちどり、龍生園）	2,413,125
講師派遣事業	職員教育事業 単発研修講師	・風の村特養ホーム八街、ほのぼの西 尾・篠木、中山ちどり 3件 ・介護サービス相談員現任研修講師 ・NPO法人高齢社会をよくなる女性の会 記念講演	2,799,6000
出版事業		○「最新版 虐待防止チェックシート」 9分類82項目 「厚生労働省データ3年間比較の読み 解き」 3月下旬発行 発売は4月1日	0